

# 【音楽科学習の手引】

## 1 「音楽」の時間にする

音楽の学習は大きく2つに分けられます。

*表現の活動*・・・歌を歌う、楽器を演奏する、音楽を作る

*鑑賞の活動*・・・様々な音楽作品に触れる

これらの活動そのものが本当のねらいではありません。これらの活動を通して、音楽を楽しむ基本的な力(表現する力、聴き合う力)を伸ばしていきます。更に、音楽を心から楽しむもうとする気持ちを大切に、音楽から様々なことを感じ取れるような鋭い感覚をはぐくんでいきます。また、感動を分かち合い、豊かな心の持ち主になることを目指していきます。

## 2 音楽の学習で大切にしたいこと

### (1) 心を開こう

音楽は心のメッセージです。作品には作曲者・作詞者の、演奏には演奏者のメッセージが込められています。自分の心を開かなければ他の人のメッセージは伝わらないし、自分のメッセージも伝えることができません。「難しそう」「つまらなそう」ではなく、「やってみよう」「おもしろそう」と心を開き、音による表現の世界へ、一歩踏み出す勇気を持ちましょう。そして何よりも、美しいものを求める心を大切にしていきたいものです。また、音楽においては、基本的に「こうでなければならない」というものはありません。国や地域によって、様々な音楽の形があります。そして、クラシック・ポップス・ロック・演歌など様々なジャンルの音楽があります。自分の慣れ親しんだものが正しい姿ととらえるのではなく、いわゆる「異文化」にも自ら歩み寄って「どんなものだろう」と知る姿勢を本当に大切にしていきたいものです。それがきっと私たちの心をより豊かにすることにつながっていくのだと思います。

### (2) 耳を開こう

音楽は音でメッセージを伝えるものです。心を開いたら、耳で音楽を受け取ってください。何の意図も持たずに出す音は、音楽となりません。音楽室では「騒音」ではなく、「楽音」を出すように心掛けたいものです。一番大事なことは、よく聴くこと、聴き合うことです。その音がどのようにつながっているのか、どのように重なって響き合っているのか、注意して聴くようにしましょう。常に他の音とのつながり、重なりの中で自分の出す音をつかんでいくように心掛けましょう。特に合唱の活動ではこのことがとても重要になってきます。他のパートの音を「鏡」にして、自分の出すべき音程を「映し」出し、美しい声のハーモニーを作り出します。音楽において「聴く」ことは本当に大切なのです。

### (3) 目を開こう

心と目で受け止めたら、その音楽を楽しめる要素に目を開くことが大切です。音楽を聴いて感動しても、その何に感動したのかが分からなければ、音楽を学習したことに

はなりません。例えば歌唱の場合、ただ歌っていても感動を呼びません。正しい姿勢や発音で、歌詞の意味を考え表現を工夫します。そういうものに目を開くことが大切です。また、鑑賞の場合でも同じです。その曲の演奏形態や形式・構造を知ったり、作曲者のことや作られた背景などを知ったりすることによって、さらにその曲の感動が深まるのです。豊かな表現を求めて工夫する事柄や、感動を深めるために学習する事柄のほとんどは、目で確かめられるものなのです。心と耳で受け止めた音楽を、目を開くことで学習として定着させましょう。

### 3 授業での約束

#### (1) 互いに認め合い、支え合う心を

「音楽」が「音が苦」になってしまわないためにも、伸び伸びと自分を表現できる時間であってほしいと思います。互いに認め合い、支え合ってこそその表現活動なのです。お互いに気持ちよく音楽活動に取り組めるような雰囲気を作っていきましょう。

#### (2) 活動の形態

活動の内容によって、個別学習・ペア学習・グループ学習などの形態があります。例えばグループで取り組む場合は、2～5名程度でのアンサンブルもありますし、合唱の活動では7～10名程度のパート練習もあります。人数が多くなると、他の人に頼って表現の取り組みがおろそかになってしまう場合があります。お互いに自分なりの表現をぶつけ合い、磨き合うことなしに、音楽におけるグループ学習は成り立ちません。そのことをしっかり心に留めて活動してほしいと思います。

#### (3) 準備物などをメモしましょう



### 4 評価について

音楽の評価の観点は、次の4つです。

#### 【音楽への関心・意欲・態度】

音楽に親しみ、意欲的に授業に取り組んでいる。

**【音楽的な感受や表現の工夫】**

音楽のよさや美しさを感じ取り、表現を工夫することができる。

**【表現の技能】**

響きのある音、正しい音程とリズムで歌ったり、演奏したりすることができる。

**【鑑賞の能力】**

さまざまな音楽を聴き、曲の特性や美しさを味わうことができる。

以上について、より具体的に述べると、おおよそ次のようになります。このような力を総合的に見ていきます。

観 点	具 体 的 な 事 柄
<p><b>【音楽への関心・態度・意欲】</b> 音楽に親しみ、意欲的に授業に取り組んでいる。</p>	<p>音楽の様々な活動に積極的に取り組もうとしている。                      仲間の意見や考えを受け止め、協力しながら表現活動に取り組もうとしている。                      音楽によって生活を明るく豊かなものにしようとしている。                      ・活動の様子(意欲的に取り組んでいるか、仲間と協力しながら活動しているか)                      ・評価カードの記入など</p>
<p><b>【音楽的な感受や表現の工夫】</b> 音楽の良さや美しさを感じ取り、表現を工夫することができる。</p>	<p>表現や鑑賞の活動を通して、歌詞や旋律の良さ美しさを感じ取ることができる。                      音と音との関わり合いや、音楽の持つ曲想や美しさを感じる能力を高め、それらを生かした表現や鑑賞の工夫をすることができる。                      ・授業での演奏の様子(曲にあった音量・音色・強弱速度など表現を工夫しているか)                      ・発表会・実技テストなど</p>
<p><b>【表現の技能】</b> 響きのある音、正しい音程とリズムで歌ったり、演奏したりすることができる。</p>	<p>音楽を表現するための基礎的な技能(発声や楽器の扱い・読譜力など)を身に付けている。                      それぞれの曲に合った歌い方、演奏の仕方で歌唱・器楽演奏をすることができる。                      ・授業での演奏の様子(曲に合った奏法や扱い方を身に付けようとしているか)                      ・発表会・実技テストなど</p>
<p><b>【鑑賞の能力】</b> さまざまな音楽を聴き、曲の特性や美しさを味わうことができる。</p>	<p>音楽を楽しく聴き、その曲の特徴や演奏形態や美しさを味わうことができる。                      我が国の音楽及び、諸民族の音楽の特徴などを、背景となる文化・歴史などと関わらせて聴くことができる。                      ・授業での活動の様子                      ・ワークブック、学習プリント</p>